

食品安全委員会の運営について（令和元年10月～令和元年12月）

1. 食品安全委員会の開催

10月：第759回～第762回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（5案件、9品目）

添加物（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・L-酒石酸カリウム</li> <li>・DL-酒石酸カリウム</li> <li>・メタ酒石酸</li> <li>・炭酸カルシウム</li> </ul>
農薬（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イマザピル</li> </ul>
化学物質・汚染物質（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒精飲料中のメタノールの規制値変更について</li> </ul>
微生物・ウイルス（2案件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳等省令に係る調製粉乳の審査事項について</li> <li>・乳等省令に定める乳等の処理の基準を改正すること</li> </ul>
プリオン（2案件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬に由来する肉骨粉等の豚、鶏又はうずら用飼料への利用再開他について</li> <li>・輸入された牛血粉等を養魚用飼料又は肥料として利用することについて</li> </ul>
遺伝子組換え食品等（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ZGL株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ</li> <li>・チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A</li> <li>・CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム</li> </ul>
特定保健用食品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トク牛サラシアプレミアム</li> </ul>

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（4案件、11品目）

農薬（7品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テブコナゾール <u>ADIを0.029 mg/kg 体重/日、ARfDを0.3 mg/kg 体重と設定。</u></li> <li>・ジクワット <u>ADIを0.0058 mg/kg 体重/日（ジクワットイオン換算値）、ARfDを0.75 mg/kg 体重（ジクワットイオン換算値）と設定。</u></li> <li>・ピリミジフェン <u>ADIを0.0015 mg/kg 体重/日、ARfDを0.04 mg/kg 体重と設定。</u></li> <li>・プロフラニリド <u>ADIを0.017 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u></li> </ul>
---------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1,3-ジクロロプロペン <u>ADIを0.02 mg/kg 体重/日、ARfDを0.2 mg/kg 体重と設定。</u></li> <li>・ オキサチアピプロリン <u>ADIを3.4 mg/kg 体重/日、ARfDは設定する必要がないと判断。</u></li> <li>・ シクラニリプロール <u>ADIを0.012 mg/kg 体重/日、ARfDは設定する必要がないと判断。</u></li> </ul>
化学物質・汚染物質（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 酒精飲料中のメタノールの規制値変更について <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u></li> </ul>
微生物・ウイルス（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳等省令に定める乳等の処理の基準を改正すること <u>食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当。</u></li> </ul>
プリオン（2案件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 馬に由来する肉骨粉等の豚、鶏又はうずら用飼料への利用再開他について <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u></li> <li>・ 輸入された牛血粉等を養魚用飼料又は肥料として利用することについて <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u></li> </ul>
遺伝子組換え食品等（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Y9-7（食品） <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u></li> <li>・ ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Y9-7（飼料） <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断。</u></li> <li>・ 除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネMS11（食品） <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u></li> </ul>

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネMS11（飼料）<br/><u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断。</u></li></ul> |
|---|

### (3) その他

- ・衛藤内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）から挨拶。
- ・食品安全委員会専門委員の選任について事務局から報告。
- ・「菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループ」の設置を決定。
- ・「残留農薬に関する食品健康影響評価指針」を決定。
- ・「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針」を決定。
- ・BSE対策に関する調査結果等について、厚生労働省及び農林水産省から報告。今後、BSE対策に関する報告については、米国、カナダ、アイルランドと同様に、国内も含め3か国以外の国についても、随時の報告を依頼することを決定。
- ・令和元年度食品安全確保総合調査追加課題を決定。

11月：第763回～第765回（3回）

（1）食品健康影響評価の要請案件

- ・案件なし

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（1案件、8品目）

農薬（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピジフルメトフェン <u>ADIを0.099 mg/kg 体重/日、ARfDを0.3 mg/kg 体重と設定。</u></li> </ul>
動物用医薬品（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チルジピロシン <u>ADIを0.03 mg/kg体重/日と設定。</u></li> <li>・チルジピロシンを有効成分とする豚の注射剤（ズプレボ40注射液） <u>本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と判断。</u></li> <li>・ナナフロシン <u>ADIを0.01 mg/kg体重/日と設定。</u></li> <li>・豚コレラマーカークチンを接種した豚に由来する食品の安全性 <u>本製剤が適切に使用される限りにおいては、本製剤を接種した豚に由来する食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と判断。</u></li> </ul>
遺伝子組換え食品等（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LG-108株を利用して生産されたL-ロイシン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断し、本添加物については、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」による評価は必要ないと判断。</u></li> <li>・SCM2034株を利用して生産されたシアノコバラミン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断し、本添加物については、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」による評価は必要ないと判断。</u></li> <li>・K12 KCCM11252P株およびK12 KCCM11340P株を利用して生産されたL-メチオニン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、当該飼</u></li> </ul>

	<p><u>料添加物を摂取した家畜に由来する畜産物の安全性の問題はないものと判断し、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」による評価は必要ないと判断。</u></p>
<p>菌末を原材料として使用する調製粉乳（1案件）</p>	<p>・乳等省令に係る調製粉乳の審査事項  <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u></p>

(3) その他

- ・令和2年度食品安全モニターの募集方針について事務局から説明。

12月：第766回～第768回（3回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（1案件、13品目）

農薬（6品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チオキサザフェン</li> <li>・ピメトロジン</li> <li>・ピリフルキナゾン</li> <li>・プロクロラズ</li> <li>・プロヒドロジャスモン</li> <li>・フロメトキン</li> </ul>
動物用医薬品（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症・牛ヒストフィルス・ソムニ（ヘモフィルス・ソムナス）感染症混合（アジュバント加）ワクチン（“京都微研”、キャトルウイン-5Hs）</li> <li>・チルジピロシン</li> </ul>
器具・容器包装（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生法第18条第1項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）及び乳及び乳製品の成分規格等に関する省令（昭和26年厚生省令第52号）に定められた器具・容器包装に係る規格基準を改正することについて</li> </ul>
遺伝子組換え食品等（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CF307株を利用して生産されたキシラナーゼ</li> <li>・JPBL006株を利用して生産されたキシラナーゼ</li> <li>・JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ</li> <li>・JPAo005株を利用して生産されたキシラナーゼ</li> </ul>
飼料添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムラミダーゼ</li> </ul>

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等（2案件、2品目）

農薬（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トルピラレート</li> </ul> <p>ADIを0.0076 mg/kg 体重/日、ARfDを0.1 mg/kg 体重と設定。</p>
動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症・牛ヒストフィルス・ソムニ（ヘモフィルス・ソムナス）感染症混合（アジュバント加）ワクチン（“京都微研”、キャトルウイン-5Hs）</li> </ul> <p><u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u></p>
器具・容器包装（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生法第18条第1項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）及び乳及び乳製品の成分規格等に関する省令（昭和26年厚生省令第52号）に定められた器具・容器包装に係る規格基準を改正することにつ</li> </ul>

	<p>いて</p> <p><u>規格基準告示の改正については、改正後の規格基準が遵守される限りにおいて、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u></p> <p><u>また、この改正に伴う規格基準告示の一部規定の削除は、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当。</u></p> <p><u>乳等省令の改正については、「乳等省令における一部規定の削除」及び規格基準告示に乳等省令の記載内容を一部修正のうえ記載するもののうち、「①容器包装等の規格基準の法令上の整理」及び「②容器包装等の規格基準の見直し（規格値の変更を伴わないもの）」については、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当。</u></p> <p><u>また、「③容器包装等の規格基準の見直し（4項目）」については、いずれについても、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u></p>
<p>かび毒・自然毒等（1案件）</p>	<p>・デオキシニバレノール</p> <p><u>デオキシニバレノール（総和）のばく露量の推定結果から、現状において、我が国におけるばく露量はTDI（1 µg/kg体重/日）を下回っていると考えられた。</u></p> <p><u>また、1～6歳の集団におけるばく露量がTDIに近い値であり、喫食状況やデオキシニバレノールの汚染状況によってはTDIを超える可能性がないとは言えないことや、小麦以外の穀類からのばく露もあることを考慮すると、リスク管理機関において、引き続き低減対策に努める必要。</u></p> <p><u>加えて、使用したデータの不確実性、統計解析手法の特性等から、過小又は過大推定となっている可能性があることに留意が必要であり、不確実性を除くため、リスク管理機関は、より実態に近いデオキシニバレノール（総和）の摂取量推定を行うことができる情報収集や調査等を行うことが必要。</u></p> <p><u>今後の課題としては、リスク管理機関において、データ、特に小麦粉及び最終製品に含まれるデオキシニバレノール等の濃度及び食品摂取量が得られた際には、それらのデータを用いてより正確なばく露評価を行い、コーデックス基準の導入を含めた低減対策について検討すべき。</u></p>

## 2. 専門調査会等の運営（全31回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件	
企画等	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出</li> <li>・ 2019年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告について</li> <li>・ 令和元年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について</li> </ul>	
添加物	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出</li> <li>・ 添加物に関する食品健康影響評価指針</li> <li>・ 炭酸カルシウム</li> <li>・ L-酒石酸カリウム</li> <li>・ メタ酒石酸</li> </ul>	
農薬	幹事会	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イプフルフェノキン</li> <li>・ シフルフェナミド</li> <li>・ メフェントリフルコナゾール</li> <li>・ ピジフルメトフェン</li> <li>・ イマザピル</li> <li>・ ビキサフェン</li> <li>・ ベンズピリモキササン</li> <li>・ トルピラレート</li> <li>・ アゾキシストロビン</li> <li>・ オキサゾスルフィル</li> <li>・ カルボフラン</li> <li>・ カルボスルファン</li> <li>・ ベンフラカルブ</li> </ul>
	評価第一部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カルボフラン</li> <li>・ カルボスルファン</li> <li>・ ベンフラカルブ</li> </ul>
	評価第二部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベンズピリモキササン</li> <li>・ ビキサフェン</li> <li>・ アゾキシストロビン</li> </ul>
	評価第三部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オキサゾスルフィル</li> <li>・ シフルトリン</li> </ul>
	評価第四部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イマザピル</li> <li>・ フェンプロパトリン</li> </ul>
動物用医薬品	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出</li> <li>・ 酢酸トレンボロン</li> <li>・ 豚コレラマーカーククチンを接種した豚に由来する食品の安全性</li> <li>・ ゼラノール</li> </ul>	
プリオン	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門委員の紹介及び専門調査会の運営等</li> <li>・ フランス及びノルウェーから輸入される牛肉及び牛の内臓</li> </ul>	
遺伝子組換え食品等	4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出</li> <li>・ ZGL株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ</li> <li>・ チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A</li> <li>・ CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナ</li> </ul>	

		<p>トリウム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CF307株を利用して生産されたキシラナーゼ</li> <li>・JPBL006株を利用して生産されたキシラナーゼ</li> </ul>
新開発食品	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出</li> <li>・トク牛サラシアプレミアム</li> </ul>
肥料・飼料等	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出</li> <li>・ジブチルヒドロキシトルエン</li> </ul>
薬剤耐性菌WG	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門委員の紹介、WGの運営等及び座長の選出</li> <li>・家畜に使用するビコザマイシンに係る薬剤耐性菌</li> <li>・家畜に使用する硫酸コリスチンに係る薬剤耐性菌に関する再評価の必要性の検討</li> </ul>
評価技術企画WG	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門委員の紹介、WGの運営等及び座長の選出・座長代理の指名</li> </ul>
アレルギーを含む食品に関するWG	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門委員の紹介、WGの運営等及び座長の選出・座長代理の指名</li> <li>・アレルギーを含む食品に関する食品健康影響評価について</li> </ul>
菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するWG	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門委員の紹介、WGの運営等及び座長の選出・座長代理の指名</li> <li>・乳等省令に係る調製粉乳の審査事項</li> </ul>

### 3. 意見交換会の開催等

#### (1) 意見交換会（全9回）

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体	主な対象者
10/21	宮城県	食品に関するリスクコミュニケーション 「これまでを知り、これからを考える ～食品中の放射性物質～」	消費者庁、 厚生労働省、 農林水産省、 宮城県、仙 台市	一般消費者
11/8	福岡県	食品に関するリスクコミュニケーション 「これまでを知り、これからを考える ～食品中の放射性物質～」	消費者庁、 厚生労働省、 農林水産省、 福岡県、福 岡市	一般消費者
11/20	東京都	報道関係者との意見交換会 「食品用器具及び容器包装に関するリ スク評価について」	—	報道関係者
11/20	鹿児島県	地方共催意見交換会 「食」の安全・安心セミナー ～食の 安全・安心に関する基礎知識を学ぶ～	鹿児島県	食品関連事業者 等
11/22	京都府	食品に関するリスクコミュニケーション 「これまでを知り、これからを考える ～食品中の放射性物質～」	消費者庁、 厚生労働省、 農林水産省、 京都府、京 都市	一般消費者
11/22	熊本県	地方共催意見交換会 「学校教育関係者を対象とした意見交 換会in熊本」～遺伝子組換え食品につ いて学び、生徒への伝え方を学ぼう～	熊本県	学校教育関係者
11/27	東京都	食品に関するリスクコミュニケーション 「これまでを知り、これからを考える ～食品中の放射性物質～」	消費者庁、 厚生労働省、 農林水産省	一般消費者
11/29	高知県	地方共催意見交換会 「食の安全・安心に関するリスクコミ ュニケーション」～ノロウイルスをも っと知ろう！～	高知県・高 知市	学校教育関係者 等

12/3	兵庫県	地方共催意見交換会 「食中毒予防に関するリスクコミュニケーション」～私たちにできるノロ対策について考えよう～	明石市	食品関連事業者
------	-----	---	-----	---------

(2) 講座 (全3回)

開催日	開催地	講座名	対象者
10/31	大阪府	精講：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～ノロウイルス～ (大阪会場) *山本委員	食品事業者 行政担当者 研究者 等
11/1	東京都	精講：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～ノロウイルス～ (東京会場) *山本委員	食品事業者 行政担当者 研究者 等
12/16	東京都	精講：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～ノロウイルス～ (第2回東京会場) *山本委員	食品事業者 行政担当者 研究者 等

(3) 講師派遣 (全9回、うち委員3回)

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
10/9	福島県	令和元年度 食の安全フォーラム～聞いてみよう！健康食品のはなし～ (テーマ：「健康食品」について安全な選択をするために (19のメッセージ))	いわき市保健所	一般消費者
10/18	香川県	第30回全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会 (テーマ：食品安全委員会における微生物関連のリスク評価) *山本委員	全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック事務局 (香川県食肉衛生検査所)	食肉衛生検査所職員
11/1	沖縄県	令和元年度 (第48回) 九州地区食肉衛生検査所協議会沖縄県大会	九州地区食肉衛生検査所協議会	食肉衛生検査所職員
11/19	長野県	食品衛生ミニシンポジウム ～食肉による食中毒を防ぐために～	長野市保健所	一般消費者、食品関係事業者、行政職員
11/23	群馬県	第25回ヒ素シンポジウム	第25回ヒ素シンポジ	研究者等

		(テーマ：食品安全委員会における重金属類のリスク評価) *佐藤委員長	ウム	
12/11	東京都	ベトナム中央経済委員会訪日研修 (テーマ：日本における食品安全行政の現状)	産業能率大学	ベトナム政府 機関職員
12/14	茨城県	専門科目「農林生物学特別講義Ⅰ」 (テーマ：食の安全と作物生産)	筑波大学	学生
12/15	鹿児島県	神戸薬科大学生涯研修事業、南九州生涯研修企画委員会研修会 (テーマ：薬剤師が知っておくべき食の安全情報) *堀口委員	神戸薬科大学	薬剤師
12/19	佐賀県	食の安全・安心講演会～みんなで取り組む、食の安全・安心～ (テーマ：食品添加物の評価について)	佐賀県	一般消費者

#### (4) 訪問学習 (全5回)

開催日	内容	依頼者	対象者
10/4	「リスクアナリシス」の仕組みや食品安全委員会の「リスク評価」について説明	JICA九州 (受託：(公財)北九州国際技術協力協会)	食品安全行政担当者 (アジア諸国、レバノン等)
10/24	「食品安全についての基本的な考え方と安全を守るしくみ」をテーマとして、食品安全行政のしくみやリスク評価等について説明	石川県立金沢錦丘中学校	学生
12/5	「食品の安全性を確保するために」をテーマとして、食品安全行政のしくみやリスク評価等について説明	盛岡公務員法律専門学校	学生
12/11	「食品安全行政のしくみ」や「食品安全モニター課題報告」について説明及びモニター調査に関して意見交換	東京成徳大学高等学校	学生
12/13	食品の安全を確保するためのリスクアナリシスの考え方や残留農薬の評価方法などについて説明及び農薬専門調査会幹事会の視聴	慶應義塾大学大学院	学生

#### 4. 情報提供

##### (1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■10月：19 記事

閲覧数（Facebook）約29,900件/月、（ブログ）約1,400件/月

投稿日	記事内容
1	食品安全委員会の英文電子ジャーナルVol. 7, No. 3を公開しました
	Food Safety Vol.7, No.3 has just been published
	「健康食品」は誰でも摂ってよいですか？～「健康食品」19のメッセージ～
2	申込み締切り（大阪会場）のお知らせ「精講：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル」
4	<訪問学習> J I C A 北九州（（公財）北九州国際技術協力協会）の研修生が来所しました
	【キッズボックス】食中毒に気をつけよう（2019年9月号）
8	知って防ごう！ノロウイルスによる食中毒（第1回：発生状況と症状）
9	海外情報：WHOが「飲用水中のマイクロプラスチック」を公表
10	【お母さんになるあなたへ】乳幼児の食べ物による窒息事故を防ぐために
11	食品に関するリスクミ「これまでを知り、これからを考える～食品中の放射性物質～」開催のお知らせ
16	令和元年台風第19号の大雨について
17	病気の時も「健康食品」を摂り続けてよいですか？～「健康食品」19のメッセージ～
24	知って防ごう！ノロウイルスによる食中毒（第2回：ウイルスの特徴）
	【お知らせ】令和元年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催します
25	知って防ごう！芽胞形成菌による食中毒①～加熱でも死滅しない食中毒菌があります～
30	食中毒の予防～小麦粉は加熱して食べましょう～
	第762回食品安全委員会に衛藤大臣が出席しました

食品中の放射性物質に関するリスクコミュニケーションを開催しました
【編集後記（神無月）】加工食品の保存

■11月：19 記事

閲覧数（Facebook）約32,300件/月、（ブログ）約2,600件/月

投稿日	記事内容
1	医薬品と「健康食品」を併せて摂る場合は相談を～いわゆる「健康食品」19のメッセージ～ 薬剤耐性対策推進月間
5	精講（ノロウイルス）の開催結果および第2回東京会場の開催のお知らせ
7	「健康食品」は薬の代わりにはなりません～いわゆる「健康食品」19のメッセージ～
8	知って防ごう！ノロウイルス食中毒（第3回：感染経路と原因食品）
11	知って防ごう！芽胞形成菌による食中毒②－ウエルシュ菌（その1） 食品中放射性物質に関するリスクコミュニケーション（福岡会場）を開催しました
13	薬剤耐性対策推進月間（その2）
14	食べて痩せられる食品はありますか？～いわゆる「健康食品」19のメッセージ～
18	知って防ごう！芽胞形成菌による食中毒③ ウエルシュ菌による食中毒【その2原因食品・予防法】
20	「食品安全モニター」の募集を開始しました！
22	食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催しました
25	鹿児島県の食品関連事業者等のみなさまと意見交換会を開催しました メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全－ノロウイルスによる食中毒について－その1 食品中放射性物質に関するリスクコミュニケーション（京都会場）を開催しました
27	【意見交換会】「学校教育関係者を対象とした意見交換会 in 熊本」を開催しま

	した
28	薬剤耐性対策推進月間（その3）
29	【キッズボックス】 ノロウイルスによる食中毒から身を守ろう（2019年11月号）
	【編集後記（霜月）】 薬剤耐性対策の推進

■12月：18 記事

閲覧数：(Facebook) 約26,600件/月、(ブログ) 約1,500件/月

投稿日	記事内容
2	知って防ごう！ノロウイルスによる食中毒（第4回：予防方法）
3	【意見交換会】「高知 食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション～ノロウイルスをもっと知ろう！～」を開催しました
4	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ーノロウイルスによる食中毒についてーその2
5	【共催意見交換会】明石市で「私たちにできるノロ対策について考えよう」を開催しました
6	薬剤耐性対策推進月間（最終回：薬剤耐性菌に関する評価）
11	「リスク評価」とは？ ～用語集を更新しました～
12	「これさえ食べれば元気に長生きできる」食品はありますか？～いわゆる「健康食品」19のメッセージ～
13	知って防ごう！芽胞形成菌による食中毒④ーボツリヌス菌（その1）
17	精講（ノロウイルス 第2回東京会場）を開催しました
	広報誌「食品安全」の最新号（第56号）を公表しました
18	慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科の皆様が来訪されました
	体験談や研究結果があれば、その「健康食品」は効果があるといえますか？～いわゆる「健康食品」19のメッセージ～
20	精講（ノロウイルス）Q&A集～参加者のご質問から～①
23	精講（ノロウイルス）Q&A集～参加者のご質問から～②
26	知って防ごう！芽胞形成菌による食中毒⑤ーボツリヌス菌（その2）

27	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission of Japan」Vol. 7, No. 4を公開しました
	Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan Volume 7, Number 4 has just been published
	【編集後記（師走）】 食品安全モニター

(2) メールマガジン【読物版】(約1万人に配信)

実生活に役立つ食品安全に関する情報を分かりやすく解説した情報等の提供

配信月	記事内容
11	ノロウイルスによる食中毒について-その1
11	ノロウイルスによる食中毒について-その2

## 食品健康影響評価の審議状況

(令和元年12月25日現在)

区分	諮問案件						自ら評価 評価終了 注5)
	要請件数 注1、2)	うち 令和元年 度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和元年 度分	
添加物	290	7	6		284	2	
栄養成分添加物	2		1		1		
香料	7				7		
農薬	1237	30	162	13	1062	49	
うちポジティブリスト関係	543		144	4	395	12	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		20	1	38	5	
動物用医薬品	605	2	17		588	6	
うちポジティブリスト関係	121		17		104	3	
器具・容器包装	21	3	3		18	3	
汚染物質等	67	2	1		66	2	2
うち清涼飲料水	52		1		51		
微生物・ウイルス	19	3	1		18	2	2
プリオン	65	3	11	2	52	5	14
かび毒・自然毒	9				9	1	5
遺伝子組換え食品等	313	19	11	1	301	15	
新開発食品	91	6	2	4	85	2	3
肥料・飼料等	280	10	40		240	11	
うちポジティブリスト関係	123		31		92	1	
薬剤耐性菌	69	2	13	1	55	3	
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
その他(指定成分、アルミニウム)	2	2			2	2	1
合計	3081	89	268	21	2792	103	27

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。  
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。  
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。  
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。  
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。なお、現在審議中の案件は「食品及び器具・容器包装中の鉛」、「アレルギーを含む食品」である。  
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。  
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

# 委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2019年12月25日現在)

参考2

## I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	分類	食品健康影響評価の対象	
2003/7/3	厚	汚染物質	清涼飲料水の規格基準を改正すること（汚染物質1物質）	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌	飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（亜鉛バシトラシン、安息香酸ビコザマイシン、スルファキノキサリン、スルフォンアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質、ビコザマイシン、マクロライド系抗生物質）	8
2004/10/29	農	動物用医薬品	アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）[肥][耐]	2
2004/10/29	農	動物用医薬品	チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）[耐]	1
2005/2/14	厚	農薬	ジコホール	1
2005/8/5	農	動物用医薬品	スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）[肥]	1
2005/8/5	農	動物用医薬品	ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用））[耐]	1
2005/9/13	厚	動物用医薬品	アンピシリンナトリウム[肥]	1
2005/9/13	厚	動物用医薬品	スルファメトキサゾール[肥]	1
2005/9/13	厚	動物用医薬品	トリメトプリム[肥]	1
2006/7/18	厚	農薬	ジコホール☆	1
2006/7/18	厚	動物用医薬品	アンピシリン☆[肥]	1
2006/7/18	厚	動物用医薬品	スルファメトキサゾール☆[肥]	1
2006/7/18	厚	動物用医薬品	トリメトプリム☆[肥]	1
2006/12/19	厚	農薬	フリラゾール☆	1
2007/1/15	厚	農薬	イマゼタピルアンモニウム塩☆	1
2007/1/15	厚	農薬	ピノキサデン☆	1
2007/1/15	厚	動物用医薬品	クマホス☆	1
2007/2/6	厚	農薬	スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品	アレスリン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品	クロルマジノン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品	スルフィソゾール☆[肥]	1
2007/3/6	厚	農薬	トリチコナゾール☆	1
2007/3/6	厚	動物用医薬品	イソオイゲノール☆	1
2007/3/6	厚	動物用医薬品	イソシンコメロン酸二プロピル☆	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品	スルファチアゾール☆[肥]	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品	スルファジメトキシ☆[肥]	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品	スルファモメトキシ☆[肥]	1
2007/5/22	厚	動物用医薬品	フェノキシメチルペニシリン☆[肥]	1
2007/6/5	厚	農薬	メソスルフロンメチル☆	1
2007/6/5	厚	農薬	スルフェントラゾン☆	1
2007/8/28	厚	動物用医薬品	ジクロキサシリン☆[肥]	1
2007/10/2	厚	農薬	ジクロメジン<一部>☆	2
2007/12/18	厚	農薬	クロピラリド☆	1
2007/12/18	厚	農薬	イソキサジフェンエチル☆	1
2008/3/11	厚	農薬	酸化プロピレン☆	1
2008/3/11	厚	農薬	プロディファコウム☆	1
2008/3/25	厚	農薬	イプロバリカルブ☆	1
2008/3/25	厚	農薬	スルホスルフロン☆	1
2008/3/25	厚	農薬	ピリデート☆	1
2008/3/25	厚	農薬	フッ化スルフルル☆	1
2008/4/17		器具・容器包装	食品及び器具・容器包装中の鉛に関する食品健康影響評価の実施について◎	1
2008/6/3	厚	動物用医薬品	トビシリン[肥]	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	分類	食品健康影響評価の対象	
2008/7/8	厚	農薬	クロキンセツメキシル☆	1
2008/7/8	厚	農薬	クロジナホッププロパルギル☆	1
2008/7/8	厚	器具・容器包装	ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2008/9/5	厚	器具・容器包装	カドミウム	1
2008/9/5	厚	器具・容器包装	鉛	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品	ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬	エチオン☆	1
2009/2/9	厚	農薬	オキシデメトンメチル☆	1
2009/2/9	厚	農薬	ジクロラン☆	1
2009/2/9	厚	農薬	ジノカップ☆	1
2009/2/9	厚	農薬	フェンプロピモルフ☆	1
2009/2/9	厚	農薬	ベナラキシル☆	1
2009/2/9	厚	農薬	ホレート☆	1
2009/3/10	厚	動物用医薬品	ピランテル☆[肥]	1
2009/3/24	厚	農薬	パラチオンメチル☆	1
2009/3/24	厚	農薬	フェナミホス☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品	ジクロルボス及びナレド☆	2
2009/12/14	厚	農薬	フラザスルフロン☆	1
2010/2/16	厚	動物用医薬品	クロキサシリン☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	アスタキサンチン☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	β-カロテン☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	クエン酸☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	酒石酸☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	トウガラシ色素☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	乳酸☆<農薬用途もあり>[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	マリーゴールド色素☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	メナジオン☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質	レチノール☆[肥]	1
2010/3/1	厚	農薬	フルロキシピル☆	1
2010/3/23	厚	農薬	ベンタゾン☆	1
2010/5/11	厚	農薬	クロルデン☆	1
2010/6/22	農	農薬	ベンタゾン☆〈飼〉	1
2010/8/12	厚	農薬	ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬	クロマゾン☆	1
2010/9/13	厚	農薬	トリクロピル☆	1
2010/9/27	厚	農薬	酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬	イマザリル☆	1
2010/11/12	厚	農薬	ジフルフェンゾピル☆	1
2010/11/12	厚	農薬	ジメチピン☆	1
2010/11/12	厚	農薬	テルブホス☆	1
2010/11/12	厚	農薬	トリアスルフロン☆	1
2010/11/12	厚	農薬	パラチオン☆	1
2010/11/12	厚	農薬	ビクロゾリン☆	1
2010/11/12	厚	農薬	モノクロトホス☆	1
2010/11/15	農	農薬	テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品	クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚・農	農薬及び動物用医薬品	メトプレン☆〈一部〈飼〉〉	3
2011/1/24	厚	農薬	ペンコナゾール☆	1
2011/1/24	厚	動物用医薬品	セフロキシム☆[肥]	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	分類	食品健康影響評価の対象	
2011/2/10	厚	農薬	エンドスルファン☆	1
2011/2/10	厚	農薬	クロリムロンエチル☆	1
2011/2/10	厚	農薬	クロルタールジメチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬	エタメツルフロンメチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬	ジスルホトン☆	1
2011/3/25	厚	農薬	プロモキシニル☆	1
2011/3/25	厚	動物用医薬品	ジミナゼン☆	1
2011/4/19	厚	添加物	カルミン	1
2011/4/25	農	農薬	プロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/6/10	厚	農薬	フェナリモル☆	1
2011/9/22	厚	農薬	EPTC☆	1
2011/9/22	厚	農薬	アミノピラリド☆	1
2011/9/22	厚	農薬	イオドスルフロンメチル☆	1
2011/9/22	厚	農薬	2,4-DB☆	1
2011/9/22	厚	農薬	クロルスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬	シクロキシジム☆	1
2011/9/22	厚	農薬	ジフェンゾコート☆	1
2011/9/22	厚	農薬	テクナゼン☆	1
2011/9/22	厚	農薬	ニコスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬	マレイン酸ヒドラジド☆	1
2011/9/22	厚	農薬	メトスルフロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬	ジクロホップメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬	トリベヌロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬	ピクロラム☆	1
2011/10/11	厚	農薬	フェノキサプロップエチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬	ブタフェナシル☆	1
2011/10/11	厚	農薬	フルオメツロン☆	1
2011/10/11	厚	農薬	アトラジン☆	1
2011/10/11	農	農薬	アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	厚	農薬	トラルコキシジム☆	1
2011/11/18	厚	農薬	フェノキシカルブ☆	1
2011/11/18	厚	農薬	プロスルフロン☆	1
2011/12/19	厚	プリオン	牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し（オランダ）	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用 医薬品	シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬	エチオン☆〈飼〉	1
2012/1/23	農	農薬	ホレート☆〈飼〉	1
2012/1/23	農	農薬	シハロトリン☆〈飼〉	1
2012/1/23	農	農薬	ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	1
2012/1/23	厚	動物用医薬品	スルファジミジン☆[肥]	1
2012/2/24	厚	動物用医薬品	イソメタミジウム☆	1
2012/3/26	厚	農薬	リムスルフロン☆	1
2012/3/26	厚	農薬及び動物用 医薬品	エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	厚	農薬	4-クロルフェノキシ酢酸☆	1
2012/5/21	厚	農薬	トリデモルフ☆	1
2012/5/21	厚	農薬	フラムプロップメチル☆	1
2012/7/18	厚	農薬	ホスチアゼート■〈一部☆〉	2
2012/7/18	厚	農薬	テフルトリン☆	1
2012/7/18	厚	動物用医薬品	バシトラシン☆[肥]	1
2012/8/21	農	農薬	シフルトリン☆〈飼〉	1
2012/8/21	厚	農薬	フサライド☆	1
2012/8/21	厚	農薬	フルスルファミド☆	1
2012/8/21	厚	農薬及び動物用 医薬品	シフルトリン☆	2
2012/8/21	厚	動物用医薬品	カルバドックス☆[肥]	1
2012/9/18	厚	農薬	メコプロップ☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	分類	食品健康影響評価の対象	
2013/1/22	農	農薬	クロルピリホスメチル☆〈飼〉	1
2013/1/22	農	農薬	クロルフェンビンホス☆〈飼〉	1
2013/1/22	農	農薬	シマジン☆〈飼〉	1
2013/1/22	農	農薬	パラチオン☆〈飼〉	1
2013/1/22	農	農薬	フェンプロパトリン☆〈飼〉	1
2013/1/30	厚	農薬	クロルピリホスメチル☆	1
2013/1/30	厚	農薬	シマジン☆	1
2013/1/30	厚	農薬	フェンプロパトリン☆	1
2013/3/12	厚	農薬	アイオキシニル☆	1
2013/3/12	厚	農薬	イプロジオン☆	1
2013/3/12	厚	農薬	エテホン☆	1
2013/3/12	厚	農薬	オキサミル☆	1
2013/3/12	厚	農薬	カルフェントラゾンエチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬	クロリダゾン☆	1
2013/3/12	厚	農薬	ターバシル☆	1
2013/3/12	厚	農薬	ピリミホスメチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬	フルシトリネート☆	1
2013/3/12	厚	農薬	ホルククロルフェニユロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬	メタミトロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬	メチダチオン☆	1
2013/3/12	厚	農薬	レナシル☆	1
2013/3/12	厚	動物用医薬品	ハロフジノン☆[肥]	1
2013/3/12	農	農薬	ピリミホスメチル☆〈飼〉	2
2013/4/2	厚	プリオン	プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬	γ-BHC☆〈飼〉	1
2013/6/10	農	農薬	ジメトエート☆〈飼〉	1
2013/6/10	農	農薬	パラコート☆〈飼〉	1
2013/6/10	農	農薬	メチダチオン☆〈飼〉	1
2013/6/12	厚	農薬	アラニカルブ☆	1
2013/6/12	厚	農薬	イマザキン☆	1
2013/6/12	厚	農薬	ジウロン☆	1
2013/6/12	厚	農薬	シプロコナゾール☆	1
2013/6/12	厚	農薬	ジメトエート☆	1
2013/6/12	厚	農薬	パラコート☆	1
2013/6/12	厚	農薬	フルキンコナゾール☆	1
2013/6/12	厚	農薬	プロクロラズ☆	1
2013/8/20	厚	農薬	DBEDC■〈一部〉☆	2
2013/8/20	厚	農薬	ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部〉☆	2
2013/8/20	厚	農薬	イマザモックスアンモニウム塩☆	1
2013/8/20	厚	農薬	ヒメキサゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬	メトリブジン☆	1
2013/8/20	厚	農薬	リニューロン☆	1
2013/8/20	厚	農薬及び動物用医薬品	ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2013/8/20	厚	動物用医薬品	ジブチルヒドロキシトルエン 〈飼〉 ☆	1
2013/12/10	厚	動物用医薬品	ナイカルバジン☆[肥]	1
2014/3/25	厚	動物用医薬品	酢酸トレンボロン☆	1
2014/3/25	厚	動物用医薬品	ゼラノール☆	1
2014/3/25	厚	動物用医薬品	マデュラマイシン☆[肥]	1
2014/3/25	厚	動物用医薬品	ロベニジン☆[肥]	1
2014/9/9	厚	農薬	ピラゾリネート☆	1
2015/1/8	厚	プリオン	スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/2/12	厚	プリオン		1
2015/3/30	厚	プリオン	デンマークから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/5/14	厚	プリオン	スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	2
2015/9/30	厚	プリオン	イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン	牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	分類	食品健康影響評価の対象	
2016/3/23	厚	農薬	バリダマイシン■<一部☆>	2
2016/9/8	厚	プリオン	オーストラリアから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※	1
2017/4/19	厚	農薬	ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン	英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等	ミラクリン発現トマト (TU-IPI05B-1) (食品) ■	1
2017/12/19	農	遺伝子組換え食品等	ミラクリン発現トマト (TU-IPI05B-1) (飼料) ■	1
2018/7/4	農	動物用医薬品	バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤 (エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス) ■[耐]	1
2018/11/21	厚	農薬	1-メチルシクロプロペン■	1
2019/1/10	厚	添加物	25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2019/2/14	厚	遺伝子組換え食品等	Rhodobacter sphaeroides 168株を利用して製造された香料バレンセン■	1
2019/2/20	厚	動物用医薬品	ジクロロイソシアヌル酸☆	1
2019/2/27	農	動物用医薬品	アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤 (アモスタックLA注) [耐]	1
2019/3/19	厚	プリオン	スペインから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2019/5/22	厚	遺伝子組換え食品等	JPAo003株を利用して生産されたリパーゼ■	1
2019/5/23	消	新開発食品	ヘルシア サツと健膳(プレーン、プレーン ボトル、レモンオリーブ風味、レモンオリーブ風味 ボトル) ■	4
2019/6/19	厚	農薬	オキサズスルフィル■	1
2019/7/3	消	新開発食品	ピルクル400	1
2019/7/31	厚	農薬及び添加物	アゾキシストロビン■	2
2019/9/5	厚	農薬	フェンプロパトリン■	1
2019/9/5	厚	農薬	ベンタゾン	1
2019/9/5	厚	農薬及び動物用医薬品	シフルトリン	1
2019/9/5	厚	動物用医薬品	ジブチルヒドロキシトルエン [肥]	1
2019/9/26	厚	遺伝子組換え食品等	ZGL株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ	1
2019/10/9	厚	添加物	L-酒石酸カリウム	1
2019/10/9	厚	添加物	DL-酒石酸カリウム	1
2019/10/9	厚	添加物	メタ酒石酸	1
2019/10/9	厚	添加物	炭酸カルシウム	1
2019/10/10	厚	微生物・ウイルス	乳等省令に係る調製粉乳の審査事項について (育児用ミルク)	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等	チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等	CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム	1
2019/10/24	消	新開発食品	トク牛サラシアプレミアム	1
2019/11/28	厚	遺伝子組換え食品等	CF307株を利用して生産されたキシラナーゼ	1
2019/11/28	厚	遺伝子組換え食品等	JPBL006株を利用して生産されたキシラナーゼ	1
2019/12/11	農	肥料・飼料等	ムラミダーゼ	1
2019/12/12	厚	遺伝子組換え食品等	JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ	1
2019/12/12	厚	遺伝子組換え食品等	JPAo005株を利用して生産されたキシラナーゼ	1
2018/12/18	厚	農薬	チオキサザフェン ■	1
2018/12/18	厚	農薬	ピメトロジン	1
2018/12/18	厚	農薬	ピリフルキナゾン ■	1
2018/12/18	厚	農薬	プロクロラズ	1
2018/12/18	厚	農薬	プロヒドロジャスモン ■	1

## I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	分類	食品健康影響評価の対象	
2018/12/18	厚	農薬	フロメトキン ■	1
2018/12/18	厚	肥料・飼料等	チルジピロシン ■	1

(注)

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

## Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2019/11/13～2019/12/12	農薬 イブフルフェノキン■	1
2019/11/13～2019/12/12	農薬 シフルフェナミド■	1
2019/11/13～2019/12/12	農薬 メフェントリフルコナゾール■	1
2019/11/13～2019/12/12	新開発食品 ヘルシア サツと健膳(プレーン、プレーン ボトル、レモンオリーブ風味、レモンオリーブ風味 ボトル) ■	4
2019/11/20～2019/12/19	プリオン フランス及びノルウェーから輸入される牛肉及び牛の内臓	2
2019/11/27～2019/12/26	遺伝子組換え食品等 除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ピマワタ MON88701×MON88913系統	1
2019/12/4～2020/1/2	農薬 イマザピル（飼料中の残留農薬基準も含む）■	2
2019/12/4～2020/1/2	農薬 ビキサフェン■	1
2019/12/4～2020/1/2	農薬 ベンズピリモキサシ■	1
2019/12/25～2020/1/23	農薬 カルボフラン☆〈飼〉	2
2019/12/25～2020/1/23	農薬 カルボスルファン<一部☆>	2
2019/12/25～2020/1/23	農薬 ベンフラカルブ<一部☆>■	2
2019/12/25～2020/1/23	薬剤耐性菌 ハロフジノンポリスチレンスルホン酸カルシウム、	1

21

(注)

★は案件については意見募集は終了している。

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和元年度～）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象		
2019/4/16	厚	農薬	ビフェントリン	1
2019/4/16	厚	農薬	フロニカミド■	1
2019/4/16	厚	農薬	フルチアニル■	1
2019/4/16	農	薬剤耐性菌	飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の改正（アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン及びビクロルテトラサイクリン）	1
2019/4/23	農	動物用医薬品	豚コレラ経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性※■	1
2019/4/23	消	特定保健用食品	健やかごま油※■	1
2019/5/14	消	特定保健用食品	ヴァームスマートフィットウォーター※■	1
2019/5/14	厚	器具・容器包装、微生物ウイルス	食品衛生法の一部を改正する法律の施行に伴う省令の一部改正について	2
2019/5/21	厚・農	農薬及び動物用医薬品	ベルメトリン■＜一部☆〈飼〉＞	4
2019/5/21	農	遺伝子組換え食品等	LU17257株を利用して生産されたフィターゼ	1
2019/5/28	厚	農薬	トルクロホスメチル■＜一部☆〉	2
2019/5/28	厚	農薬	フェンピコキサミド■	1
2019/5/28	厚	農薬	ジクロベンチアゾクス■	1
2019/5/28	厚	農薬	ピコキシストロビン■	1
2019/5/28	厚	動物用医薬品	ゲンタマイシン〔肥〕	1
2019/5/28	農	飼料添加物	飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の改正（アスタキサンチン、β-アポ-9'-カロチン酸エチルエステル、カンタキサンチン）	3
2019/6/4	厚	農薬	イミノクタジン■＜一部☆〉	2
2019/6/4	厚	農薬	カルタップ■＜一部☆〉〈飼〉	3
2019/6/4	厚	農薬	チオシクラム☆〈飼〉	2
2019/6/4	厚	農薬	ペンスルタップ☆〈飼〉	2
2019/6/4	厚	農薬	フロルピラウキシフェンペンジル■	1
2019/6/4	農	動物用医薬品	アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）■〔肥〕	1
2019/6/4	農	動物用医薬品	チルジピロシンを有効成分とする豚の注射剤（ズプレボ40注射液）■〔耐〕	1
2019/6/18	厚	農薬及び添加物	ジフェノコナゾール■	1
2019/6/18	厚	農薬	チフルザミド■	1
2019/6/18	厚	農薬	ピリダリル■	1
2019/6/18	厚	農薬	ブプロフェジン■	1
2019/6/18	厚	農薬	フルオピラム■	1
2019/6/18	厚	農薬	プロチオコナゾール■	1
2019/6/25	厚	器具・容器包装	食品衛生法第18条第3項ただし書に規定する人の健康を損なうおそれのない量を設定すること	1
2019/6/25	厚	プリオン	スペインから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※	2
2019/6/25	農	プリオン	めん羊及び山羊由来の肉骨粉等の肥料利用に関する規制の見直しについて	1
2019/7/2	厚	動物用医薬品	キシラジン☆	1
2019/7/2	農	遺伝子組換え食品等	JPAo002株を利用して生産されたフィターゼ	1
2019/7/2	厚	遺伝子組換え食品等	BML780PULm104株を利用して生産されたプルラナーゼ	1
2019/7/9	厚	農薬	アメトクトラジン■	1
2019/7/23	厚	動物用医薬品	ジエチルスチルベストロール☆	1
2019/7/30	厚	農薬	ペンチオピラド■	1
2019/7/30	厚	農薬	メチルテトラプロール■	1
2019/7/30	厚	農薬	ジエトフェンカルブ■	1
2019/7/30	厚	農薬	ピカルブトラゾクス■	1
2019/7/30	厚	農薬	ベンチアバリカルブイソプロピル■	1
2019/7/30	農	肥料・飼料等	遺伝子組換え技術によって得られたAspergillus nigerから産生されるフィターゼ	1
2019/7/30	厚	遺伝子組換え食品等	SKG株を利用して生産されたL-セリン、Glu-No. 10株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム	2
2019/7/30	農	肥料・飼料等	フロルフェニコール	1
2019/8/6	厚	農薬	ピリプロキシフェン■	1
2019/8/6	厚	添加物	食品添加物公定書追補の作成のための「食品、添加物等の規格基準」の改正に関する事項について（①イソアルファー苦味酸他8品目の成分規格設定、②アセト酢酸エチルの成分規格の改正）	2
2019/8/6	厚	化学物質・汚染物質	水道により供給される水の水質基準の改正（六価クロム化合物）	1
2019/8/27	厚	農薬	イソフェタミド■	1
2019/8/27	厚	農薬	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート■	1
2019/8/27	厚	農薬	ピロキサスルホン■	1
2019/8/27	厚	農薬及び動物用医薬品	オキシロニック酸■ ★	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和元年度～）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象		
2019/8/27	農	薬剤耐性菌	フロルフェニコールを有効成分とする牛の注射剤（フロルガン）■	1
2019/9/3	厚	その他	プエラリア・ミリフィカ等4品目の指定成分等への指定について、指定成分等を含有する食品の製造又は加工の基準の設定について	2
2019/9/10	厚	遺伝子組換え食品等	RN-No. 3株を利用して生産された5'-リボヌクレオチドニナトリウム■ ★、JPBL003株を利用して生産されたβ-ガラクトシダーゼ、ORN-No. 1株を利用して生産されたL-オルニチン塩酸塩	3
2019/9/17	農	肥料・飼料等	フロルフェニコールを有効成分とする牛の注射剤（フロルガン）■	1
2019/10/1	農	プリオン	馬に由来する肉骨粉等の豚、鶏又はうずら用飼料への利用再開他について	1
2019/10/1	農	プリオン	輸入された牛血粉等を養魚用飼料又は肥料として利用することについて	1
2019/10/1	厚	農薬	テブコナゾール■	1
2019/10/1	厚	遺伝子組換え食品等	ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Y9-7（食品）■、	1
2019/10/1	農	遺伝子組換え食品等	ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Y9-7（飼料）■	1
2019/10/8	厚 農	農薬	ジクワット■☆〈飼〉	3
2019/10/8	厚	農薬	プロフラニド■	1
2019/10/8	厚	農薬	ピリミジフェン■	1
2019/10/8	厚	遺伝子組換え食品等	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネMS11■（食品）	1
2019/10/8	農	遺伝子組換え食品等	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネMS11■（飼料）	1
2019/10/15	厚	化学物質・汚染物質	酒精飲料中のメタノールの規制値変更について	1
2019/10/15	厚	農薬	オキサチアピプロリン■	1
2019/10/15	厚	農薬	シクラニリプロール■	1
2019/10/15	厚	農薬	1. 3-ジクロロプロベン■	1
2019/11/12	厚	農薬	ビジフルメトフェン■	1
2019/11/12	厚	微生物・ウイルス	乳等省令に係る調製粉乳の審査事項について（フォローアップミルク）	1
2019/11/19	厚	肥料・飼料等	チルジピロシン	1
2019/11/19	農	肥料・飼料等	チルジピロシンを有効成分とする豚の注射剤（ズプレボ40注射液）	1
2019/11/19	厚	遺伝子組換え食品等	LG-108株を利用して生産されたL-ロイシン■	1
2019/11/19	厚	遺伝子組換え食品等	SCM2034株を利用して生産されたシアノコバラミン■	1
2019/11/19	農	遺伝子組換え食品等	K12 KCCM11252P株及びK12 KCCM11340P株を利用して生産されたL-メチオニン■	1
2019/11/26	厚	肥料・飼料等	ナナフロシン	1
2019/11/26	農	動物用医薬品	豚コレラマーカークワチンを接種した豚に由来する食品の安全性	1
2019/12/3	厚	器具・容器包装	食品衛生法第18条第1項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）及び乳及び乳製品の成分規格等に関する省令（昭和26年厚生省令第52号）に定められた器具・容器包装に係る規格基準を改正することについて	1
2019/12/3	厚	農薬	トルピラレート■	1
2019/12/17	農	肥料・飼料等	牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢-粘膜病・牛バラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症・牛ヒストフィルス・ソムニ（ヘモフィルス・ソムナス）感染症混合（アジュバント加）ワクチン（“京都微研”キャトルウイン-5Hs）	1
2019/12/24	厚	かび毒	デオキシニパレノール	1

103

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

IV その他

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針